

第6学年2組 算数科学習指導案

児童数 21名
 指導者 T1 高尾 沙織
 T2 角三 直美

- 1 単元名 分数のわり算を考えよう
- 2 単元について

- 本単元では、除数が分数の場合の、除法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いる能力を伸ばすことをねらいとしている。除法の性質を用いて既習を生かしながら、「わる数の逆数をかける」という結果を導き出す過程を大切に、分数の除法の意味理解を深めていきたい。
- 本学級の子供たちは、算数に対して苦手意識をもっている子供が非常に多く、自力解決できない子供も多い。それは基礎基本が定着しておらず、既習を活用することができていないからだと思われる。その一方で、分からないときにもすぐにあきらめず、友達と相談しながら考えようとする姿も見られる。本時では、数直線を用いて、わる数を整数にしたり、 $1/4$ dL の値を求めてから 1 dL の値を求めたりする方法によって分数のわり算の計算方法を考える。その際、学習履歴を教室に掲示し、既習事項を活用して考えることができるようにしていきたい。また、グループの学習形態を取り入れることで、ねばり強く課題に取りかかれるようにしたい。

3 本時の学習 (2/9時)

(1) ねらい

除法の性質を生かして真分数÷真分数の計算の仕方を考えることができる。

(2) 展開

学習過程	学習活動	時配	指導上の留意点と評価 <small>評価<観念> (方法)</small> アンダーラインは研修主題との関連 (視点) 特別な配慮を必要とする子供への支援 ☆	資料等
見通しをもつ	1 前時の学習を確認する。 2 学習問題を提示する。	1 3	T 1	T 2
			・学習問題を全員で確認し、 <u>既習との違いを明らかにしてから課題を設定する。(視点1)</u>	学習履歴
	3/4dL のペンキで板を 2/5 m ² ぬれました。このペンキ 1dL では板を何m ² ぬれますか。			
	$2/5 \div 3/4$			
	3 学習課題を確認する。	3		
	分数÷分数の計算はどのようにすればよいのだろう			
自分の考えをもつ	4 自分の考えをもつ。(グループ) ・ $3/4$ に4をかけて整数になおすと計算できるよ。 ・ $3/4$ を3でわると $1/4$ になる。それに4をかけると答えが出るよ。	18	・ <u>2種類の数直線を比べさせ、より考えやすい方を選択させる。(視点1)</u> ・グループごとの考えを発表させながら板書で類型化していく。	ホワイトボード 2種類の数直線
学び合う	5 考えを話し合う。(全体) ・わる数の分母と分子を入れかえた逆数をかけて計算するといいいね。	15		
振り返る	6 適用問題に取り組む。 ・ $3/5 \div 5/4$ ・ $1/7 \div 2/5$ ・ $4/9 \div 3/2$ ・ $3/2 \div 1/3$	4	除法の性質を生かして真分数÷真分数の計算の仕方を考えることができる。 <数学的な考え方>(発言・ノート・プリント)	

(3) 視点

グループ活動は、真分数÷真分数の計算の仕方を理解するために効果的であったか。

4 板書計画

分数÷分数の計算はどのようにすればよいのだろう

3/4 dL のペンキで、板を 2/5 m² ぬれました。
このペンキ 1 dL では、板を何 m² ぬれますか。

式 $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$

(話し合い後に板書)

わる数の分母と分子を入れかえた
逆数をかけて計算するとよい。

A 4倍して、3でわる

<ホワイトボード>
数直線に書き込んだ
グループの考え

$\frac{2}{5} \times 4 \div 3$
 $= \frac{2}{5} \times 4 \times \frac{1}{3}$
 $= \frac{2}{5} \times \frac{4}{3}$ ← 逆数

B 1/4を求め4倍

$\frac{2}{5} \div 3 \times 4$
 $= \frac{2}{5} \times \frac{1}{3} \times 4$
 $= \frac{2}{5} \times \frac{4}{3}$ ← 逆数

